

みしま

◎三島町議選 定数8名
町民の代表が決まりました

(2・3ページに掲載)

主な内容

- P4 みしま 野の花紀行
- P6 先進地視察調査報告
徳島県上勝町
- P8 ごみの不法投棄
- P10 町の話
- P12 連載「心ある医療」
- P13 新任の先生の紹介
- P16 連載「三島人」

2008
5

広報みしま No.182



Photo/三島小学校交通教室 (4月18日)

町民の代表が決まりました

定数10名から8名に

(当選者の略歴)

- ①当選回数 ②住所
③学歴 ④職業 ⑤経歴

立候補者は定数の8名
無投票で当選が決まる

任期満了に伴う三島町議会議員一般選挙は、四月十五日に告示され、立候補の届出の受付が行われました。今回の改選から、議員定数が10名から2名減の8名となりましたが、立候補者は現職7名、新人1名、計8名であつたため、四月二十日に予定されていた投票を行うことなく、当選が決まりました。任期は、平成二十年五月十一日から、平成二十四年五月十日までの四年間です。



五十嵐 忠 義さん
いがらし ちゅうぎ 65歳 無現

- ①3回目 ②大石田 ③会津経営伝習農場 ④会社役員 ⑤町消防団訓練部長



五十嵐 乃里枝さん
いがらし のりえ 46歳 無現

- ①2回目 ②大谷 ③国際基督教大学 ④塾講師 ⑤三島中PTA会長



齋 藤 史 朗さん
さいとう しろう 80歳 共現

- ①6回目 ②宮下 ③千葉工業大学予科中退 ④無職 ⑤議会運営委員長



小 柴 修 一さん
こしば しゅういち 71歳 無現

- ①4回目 ②西方 ③会津農林高校 ④農業 ⑤議会議長、議会副議長



角 田 伊 一さん
つのだ いいち 72歳 無現

- ①3回目 ②川井 ③会津農林高校 ④商業 ⑤議会副議長、町教育委員長



栗 城 徳 光さん
くりき とくみつ 77歳 無現

- ①8回目 ②宮下 ③尋常高等小学校 ④無職 ⑤議会副議長、町監査委員



海老名 健さん
えびな けん 57歳 無現

- ①2回目 ②松原 ③会津農林高校 ④自営業 ⑤町観光協会会長



中 村 秀 臣さん
なかむら ひでおみ 73歳 無新

- ①1回目 ②西方 ③中央大学 ④農業 ⑤町農業委員

町民との誠実な対話と
将来を見据えた政策を

町は今、著しく進む少子高齢化の影響や、経済の低迷、町の財源不足など、様々な問題を抱えています。町民の代表である議員の方々には、町民との誠実な対話と、将来を見据えた政策形成能力が今以上に求められます。それは町職員も同じです。それぞれの役割を果たしながら、町民の安全・安心を確保すると共に、広い視野を持つて政策を立案し、地域の豊かな暮らしを実現しなければなりません。そのために、町民、議員、町職員等が町づくりのパートナーとして対話を重ね、学び合い、育て合うことのできる関係を築くことが大切であり、それは三島町だからこそできることだと思います。

桜花
当選証書 手に重し
小堀正義 選挙管理委員長



4月21日、小堀正義選挙管理委員長から当選者一人一人に当選証書が手渡されました。

議員の皆さんは、町民の期待を背負う町づくりのリーダーです。地域の様々な分野でご活躍され、町民の幸福のため、町の発展のためによろしくお祈りします。また、健康には十分留意され、充実した議会活動が展開できますようお祈り申し上げます。



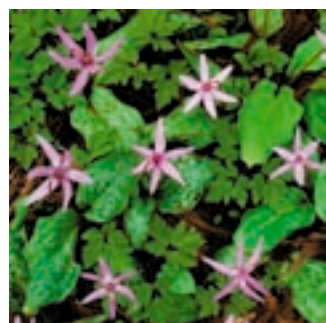
「大林ふるさとの山」のカタクリの花は、例年より早い4月中旬に見頃を迎え、少し遅れて山桜も見頃となりました。県内外から観光客が訪れ、遊歩道を歩きながら春の野の花を楽しんでいました。郡山から20年以上にわたって毎年訪れているという方は、「昔は少し咲いているだけだったのですが、年々広がってすばらしい風景になりましたね。」と話していました。

「大林ふるさとの山」は西方共有財産管理会の土地で、西方地区の方々によって下刈りなどの管理が行われ、カタクリの群生が自然に広がりました。訪れる人々のために、間伐材でベンチを作るなど、親しまれる公園づくりも進められています。



薄紫色のじゅうたんのよう、斜面いっぱいに咲いたカタクリの花（4月15日）

カタクリと山桜の共演 「大林ふるさとの山」



曇りの日は花びらが横に広がり、違う表情を見せるカタクリの花。



カタクリに交じって咲くアズマイチゲ。



遊歩道を登っていくと、見晴らし台からカタクリと山桜の風景を見下ろすことができ、晴れた日には磐梯山も見えます。



春

みしま 野の花紀行

可憐な薄紫色のカタクリの花。やさしいピンク色のオオヤマザクラ。春を象徴するソメイヨシノ。三島の春は、心安らぐ花々でいっぱいです。中でも、「大林ふるさとの山」は、約四診に広がるカタクリと山桜の名所であり、観光客も訪れる憩いの場となっています。例年より早く桜前線が到来した四月中旬、美しい野の花に彩られた三島の春を追いました。



「大林ふるさとの山」には、オオヤマザクラなど数種類の山桜が植えられており、その斜面にカタクリが群生しています。



毎年、町内で最も早く咲く会津信用金庫宮下支店前の桜。



名入地区の「ふう坂」の桜。

平均年齢70歳 高齢者を中心に200名が従事
「おもしろくて死ぬまでやめれんわあ。」



収穫した「つまもの」は丁寧にパック詰めしてJAに出荷後、トラックや空輸で全国の市場へ。その品種は、もみじ・なんてん・柿・桜など320種類。需要にあわせて多品種・少量生産を行い、即日発送できる体制を整えています。急ぐ注文は、パソコンやFAXによって生産者に伝えられ、早い者勝ちで出荷されます。

もみじなどを山や自宅の庭などに植栽し、その葉を収穫します。葉は大きさや色など「つまもの」としての品質が管理されています。

気持ちを变え、自分を変え、地域の魅力を経済につなげよう



(株)いろどり代表取締役社長 横石知二さん

地域の魅力を価値として商品に結びつけた上勝町

「彩産業」を考案したのは、元営農指導員の横石知二さん。「同じことの繰り返しは、刺激も発想もありません。与えられるのではなく、自分で考え行動する仕組みを作ったことが、彩産業の特徴です。」と話します。

生産者の方々には、パソコンやファックスで様々な情報が流れます。それに応じて生産者は、何をいつどれだけ作ればいいのか、今何をしたらいいか自分で考えます。競争心も出てきます。情報によって、気持ちを動かす仕組みが成り立っているのです。

葉っぱがどこでも売れるわけではありません。上勝町では、地域の環境や人柄など、地域の魅力を価値として、「つまもの」という商品に結びつけているのです。



70代、80代の高齢者による「つまもの」の産業。出荷状況の確認や、(株)いろどり・JAとの情報のやりとりには、高齢者でもわかりやすいように改良されたパソコンを使っています。

住民のやる気と根気で葉っぱがお金に変わった

「つまもの」を生産する ^{いろどり} 彩産業を視察

徳島県のほぼ中央に位置する山間の町、上勝町。人口は三島町よりも少なく、少子高齢化の進んだ小さな町ですが、料理に添える「つまもの」を生産する「彩産業」が展開されていることで、全国から注目を浴びています。テレビ等で見聞きされた方も多いのではないのでしょうか。

「彩産業」には、主に女性や高齢者を中心に約二百名の上勝町民が従事しており、平均年齢は七十歳。パソコンやファックスで情報を得ながら、朝から晩まで元気に働き、中には年収が一千万円を超える方もいます。収入だけでなく、働くことで健康にもつききと活躍されています。上勝町は、高齢者が本当に元気な町です。

収入と健康につながった高齢者による地場産業

昨年度、今後の町づくりに活かすため、役場の若手職員13名が3グループに分かれて、徳島県上勝町、岩手県遠野市、長野県下條村の視察調査を実施しました。若手職員たちにとって初めての視察調査。各地の先進的な町づくりに大きな刺激を受け、様々な発見をしました。今月号より3回に分けて、視察調査報告を掲載します。第1回は、徳島県上勝町です。



ごみの分別収集ボックス



住民がごみを持ち込むごみステーション

住んでいる地区・町を自分たちの手できれいにしよう

自分のごみは自分で処理 住民が支え合う上勝町

上勝町では、なんとごみ収集車が走っていません。ごみはすべて住民が各自の責任でごみステーションに持ち込み、三十四種類に分別します。自分で運ぶことができない高齢者等のために、有償で運搬する住民グループもあります。上勝町では、自分たちが出したごみは、自分たちで処理するという意識が地域に根付いています。

三島町では、今年度から各地区に呼びかけ、環境美化事業（資源ごみ回収事業）に取り組んでいきたいと考えています。業者に委託している資源ごみ回収を、各地区で回収していただき、収益金は地区づくりに役立て、自分たちの手で住みよい地域を作ろうというものです。町民の皆さんのご協力をお願いします。

上勝町と三島町の比較

	上 勝 町	三 島 町
人 口	1,955人	2,250人
世 帯 数	791世帯	810世帯
高齢化率	48.5%	43.2%
面 積	109.68km ²	90.83km ²

(平成17年 国勢調査)



徳島県上勝町



会津地鶏

焼き鳥長さ世界一挑戦イベント

20.85m
世界記録達成

山口県長門市
「長州どり」の記録を
140mm更新

三島町産会津地鶏を広くPR

**三島町のスタッフが
記録更新に大きく貢献**

「焼き鳥長さ世界一挑戦イベント」は、四月十三日、会津若松市の鶴ヶ城公園で開催されました。会津養鶏協会や会津若松市などで行う実行委員会主催。会津地鶏の重要な産地である三島町からも、会津地鶏振興会の方々と役員職員など十名が参加し、総勢五十名のスタッフが焼き鳥の長さ世界一に挑戦しました。これまでの世界記録は、山口県長門市の「長州どり」が持つ二〇・七メートル。会津藩と長州藩の歴史を意識し、戊辰戦争から百四十年ということで、百四十三・長い二〇・八五メートルの焼き鳥を作り、世界記録更新を見事達成しました。焼き鳥作りでは、三島町のスタッフが中心となって取り組み、世界記録達成に大きく貢献しました。

この記録は、四月二十日に、二十一メートルの焼き鳥に成功した和歌山県日高川町に破られてしまいましたが、今回のイベントにより、会津地鶏が会津のブランドとして広く伝えられました。三島町産の会津地鶏も、美味しく安全な地域の食として、今後ますます期待されます。

三島町イベント情報

6/7・8
(土・日)

第22回 ふるさと会津
工人まつり

両日 9:00より
会場／三島町生活工芸館前

三島町最大のまつり、ふるさと会津工人まつりが、今年も盛大に開催されます。全国の工人たちが、自然素材を材料とした手作りの工芸品を持ち寄ります。三島町の国指定伝統的工芸品「奥会津編み組細工」をはじめ、木工品・陶器・漆器・染め織物など、手のぬくもりある品々ばかり。そのほか、地元の食も楽しめます。皆さんどうぞご来場ください。

☎ 三島町生活工芸館 Tel 0241-48-5502



歳時記橋の川井地区側の待避所付近に投棄された生活ごみ

絶対に許しません ごみの不法投棄

きれいな町をみんなの手で作しましょう

四月二十四日、歳時記橋の川井地区側の待避所付近で、買い物袋に詰められた生活ごみが、まとめて投げ捨てられているのが発見されました。このような地域の生活環境を汚す心無い行為は、絶対に許しません。

三島町は、只見川や緑豊かな山々など、かけがえのない自然がある町です。町のよいところといえば、誰もが豊かな自然をあげます。この美しい地域の環境を守り、未来へ残していくことは非常に大切なことです。もし、不法投棄が繰り返され、地域が荒れ果ててしまったら、この町に住みたくなってしまうかもしれません。

私たちは、自分たちのために、住みよい環境を自分たちの手で守り育てなければなりません。地域を汚す者に対し、声を出して注意することは大変勇気のいることです。しかし、地域や行政が協力すれば、そのような行為を排除することができます。地域のみんなで、きれいな町をつくりましょう。

☎ 役場 町民課 町民生活係
Tel 四八―五五五

企業の社会貢献

「大林ふるさとの山」で清掃ボランティア
南会西部建設コーポレーションの皆さん

4月23日、南会西部建設コーポレーションの皆さんが、社会貢献活動の一環として、「大林ふるさとの山」をボランティアで清掃してくださいました。林道の清掃や、山桜の林内の整理などを行ってくださり、野の花の景観が一層きれいになりました。最近では、このような企業の社会貢献の重要性が高まっており、各地で様々な活動が行われています。南会西部建設コーポレーションの皆さん、ありがとうございました。



林道を清掃する南会西部建設コーポレーションの皆さん



イカのおすし？

三島保育所で防犯・交通教室

4月24日、三島保育所で防犯・交通教室が行われました。教室では、会津坂下警察署の八巻文枝少年警察補導員が、「イカのおすし」という言葉で子どもたちに防犯対策を教えました。その内容は、

イカ…行かない（知らない人について行かない）
の…乗らない（知らない人の車に乗らない）
お…大声で叫ぶ（「助けて」と大きな声で）
す…すぐ逃げる（大人のいる方へ逃げる）
し…知らせる（何があったか知らせる）

教室には保護者の方々も参加し、子どもたちが犯罪に巻き込まれないように改めて注意点を確認しました。その後、子どもたちは交通ルールを守ることを描いた「ちびまるこちゃん」の映画を見て、道路へのとび出しや危ない自転車の乗り方をしないことを学びました。



ブタはしゃべる？

三島小学校で交通教室

4月21日、三島小学校で交通教室が行われ、全児童が参加しました。教室では、三島駐在所の鈴木孝二巡査部長が、自転車の安全点検について「ブタはしゃべる」という言葉で説明しました。その内容は、

ブ……ブレーキはよくきくか
タ……タイヤの空気は大丈夫か
は……ハンドルはしっかりしているか
しゃ…車体はしっかりしているか
べる…ベルはちゃんと鳴るか

講話の後、子どもたちは外に出て、実際に自転車に乗り、交通ルールを守って宮下町内を走りました。小学生にとって欠かせない自転車。日常点検をしっかり行い、交通事故に十分注意して乗りましょう。



新潟県阿賀町の山菜生産者の話を聞く
大谷里山林整備組合の皆さん。

里山整備と山菜の商品化を目指す

大谷里山林整備組合が新潟県阿賀町で研修

4月22日、大谷地区の大谷里山林整備組合（組合長 五十嵐富一さん）のメンバー7名が参加して、山菜の栽培技術と販売体制等を学ぶための研修会が行われました。研修会では、会津農林事務所や西会津町の生産グループの方々と共に、山菜生産の先進地である新潟県阿賀町の生産者や直売施設を視察。参加者の皆さんは、熱心に質問しながら、自分たちは何ができるかを考えました。

大谷里山林整備組合では、森林を整備して山菜栽培を行い、道の駅等を積極的に活用した販売体制を作りたいと考えています。



役場の無線室で、交通安全と火災予防の呼びかけをテープに録音する子どもたち。
（左から、中丸あかねさん、中丸みちるちゃん、中丸拓くん、板橋和奏さん）

子どもたちの声で交通安全・火災予防を呼びかけ

テープに録音し広報車で放送

春の交通安全運動、火災予防運動に合わせ、板橋和奏さん（小6）、中丸あかねさん（小6）、中丸拓くん（小4）、中丸みちるちゃん（5歳）の4人が、交通安全と火災予防の呼びかけをテープに録音し、広報車で放送されました。呼びかけは、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんに注意を促す内容で、4人は何度も練習して上手に録音でき、三島駐在所の鈴木孝二巡査部長が広報車で放送しながら町内を巡回しました。三島町では、交通死亡事故ゼロが1400日以上続いています。今後も交通ルールを守り、事故を起こさないよう注意しましょう。また、春は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節ですので、火の取り扱いには十分に注意しましょう。

母として事故のない地域づくりを

三島町交通安全母の会総会

4月23日、町民センターにおいて第38回三島町交通安全母の会総会が行われ、役員や会員の皆さんが出席しました。総会では、交通事故犠牲者に対し黙祷し、「県交母の歌」を斉唱して母の会の役割を再確認しました。会長の佐藤直美さん（宮下）は、「最近は母として心を痛める事件事故が後を絶ちません。三島町では交通死亡事故ゼロを継続し、安全な地域を作っていきたい。」と話し、会員の皆さんに協力を呼びかけました。



三島町交通安全母の会総会

三島小学校に着任された先生



校長
坂内 洋二 先生

地域の皆さんと共に、子どもたちが健やかに成長できるよう努めていきたいと思っています。



教諭
五十嵐 純子 先生

子どもたちと一緒にたくさんのかを学んでいきたいと思っています。

三島中学校に着任された先生



校長
佐久間 雄彦 先生

微力ではありますが、精一杯がんばります。よろしくお願いします。



教諭
木野 秀樹 先生

虚心坦懐。三島町の子どもたちのために、微力ながら頑張ります。



養護教諭
須藤 秀美 先生

久々の奥会津での勤務。三島中の桜を毎年見られるのが楽しみです。



主査
金田 順子 先生

4月より三島中学校に勤務し、三島町民になりました。どうぞよろしくお願い致します。



講師
穴澤 正人 先生

三島の自然の中を子どもたちと一緒に走り回りたいと思います。



講師
田中 典子 先生

ステキな生徒たちに囲まれて幸せです。内容の濃い一年にしたいです。

新任の先生をご紹介します

三島小学校・三島中学校

平成二十年度、三島小学校に二名、三島中学校に六名、計八名の先生方が新たに着任されました。

三島町では、「よい歯の学校」や「体力づくり」など、児童生徒全員に行き届く小規模校ならではの教育を進めています。

います。教育は、学校と地域の連携がとても大切です。子どもたちが健やかに成長できるように、保護者の皆さん、地域の皆さんと共に取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

連絡先

三島小学校
TEL 52-2442

三島中学校
TEL 52-2015

三島町教育委員会
TEL 48-5599

連載

心ある医療

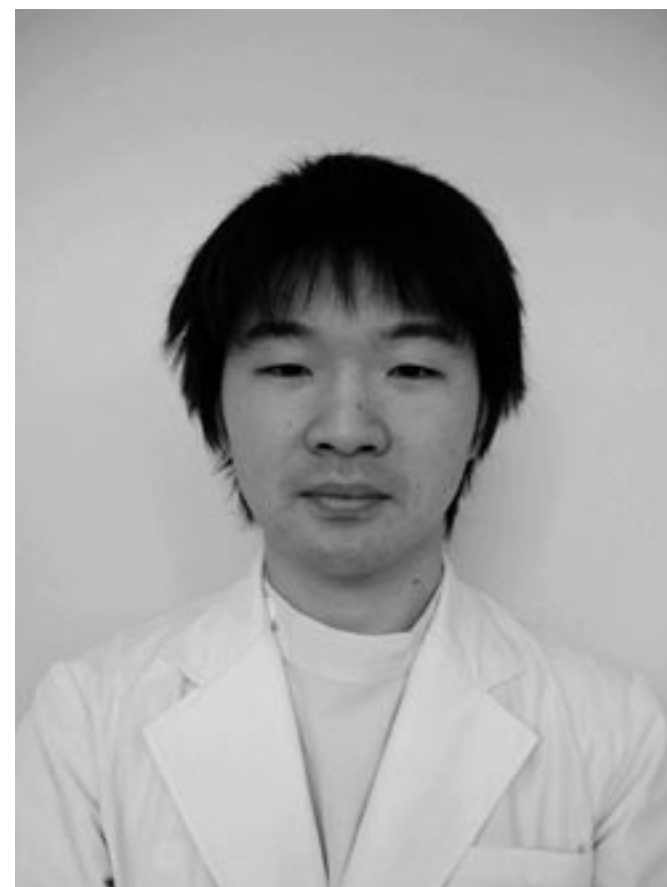
福島県立宮下病院からの情報コーナー

みやざき たけふみ
外科 宮崎 武文 先生

はじめまして。自己紹介させていただきます。私は、4月より宮下病院に着任いたしました宮崎と申します。出身大学は栃木県にある「自治医科大学」です。医師免許を取得してからこれまで福島県立医科大学で2年間の初期研修を行った後、3年目となった昨年度は南会津の「地域医療支援センター」で1年間勤務しておりました。センターでは老人ホームの嘱託医や訪問診療、開業医の代診などをしながら地域医療に携わってきました。

私は、具体的な専門はまだありませんが、これまで一般的な検査、処置、外来などのプライマリケア（初期医療）を中心に従事してきました。現在は特に「消化器一般」について勉強中です。

宮下病院では、主に外科外来やエコー、内視鏡などの検査、入院治療等を担当していきます。まだまだ若輩で不慣れな所があり、ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、皆様のお役に立てるよう一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



連載「心ある医療」では、毎月、福島県立宮下病院からの情報を掲載し、町民の皆さんに親しまれる病院を目指すと共に、地域や行政と連携した地域医療の充実を図ります。

〒 福島県立宮下病院 事務部 TEL 52-2321

役場窓口業務時間を延長します 毎週水曜日は午後7時30分まで

○発行するもの 諸証明(納税証明・印鑑証明等)
住民票・戸籍謄(抄)本

※発行手続きが早く行えるように、事前に電話での依頼も受け付けます。

皆さんどうぞご利用ください
〒 役場窓口 TEL 48-5522

国民健康保険証と高齢受給者証をご確認ください

下記に該当する保険証・高齢受給者証をお持ちの方は、役場窓口で交換して下さるようお願いします。

①有効期限が平成20年3月31日の保険証
②70歳～74歳の方で、一部負担割合欄が1割もしくは2割（平成20年3月31日まで1割）となっている高齢受給者証

〒 役場 町民課 町民生活係 TEL 48-5555

必要としている人がいる
その人のために走りたい

介護タクシー すわ

諏訪義幸さん

すわ よしゆき 五十七歳 宮下



諏訪義幸さんが運行する「介護タクシー」は、車椅子のまま乗り降りできるように改良された小型自動車です。

体の不自由な方などを送迎する「介護タクシー」を運行している諏訪義幸さん。普通自動車二種免許やホームヘルパー二級の資格を取得し、東北運輸局の許可を受けて、全国介護タクシー協会の会員として平成十八年十一月に開業しました。小型タクシー並みの料金で利用でき、乗降介助や移動介助を親切丁寧に行っています。

「高齢者の方々は、自分の子どもを一生懸命育て、社会に送り出してきました。そんな人生の先輩のために役立ちたいと思い、介護タクシーを始めました。自宅に住む介助の必要な方には、特に喜んでご利用いただいています。」と諏訪さんは話します。

そのほか、友人たちと共に、老人ホーム等での慰問活動として演芸会を行っており、得意のカラオケを披露するなど、福祉面で積極的に活躍されています。

「今後ますます高齢化が進み、地域の支えあいが必要になります。これから介護タクシーを必要とする人のために、頑張っていきたいと思っています。」その言葉には、高齢者への思いやりがあふれています。

人口と世帯 4月1日現在（住民基本台帳）

人口	2,167人（-27）	3月中の出生	1人
（男）	1,019人（-12）	人の動き	死亡 3人
（女）	1,148人（-15）		転入 4人
世帯数	861世帯（-12）		転出29人

広報 みしま 5月号 No.182

発行日 平成20年5月2日
編集 三島町役場 総務課 企画財政係
福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350
Tel 0241-48-5515
ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>
印刷 株式会社アポロ



「広報みしま」は環境にやさしい
大豆インクを使用しています。

みしま 編集後記

今月号では、カラー刷で春の花々を掲載するために、何度か「大林ふるさとの山」に通いました。薄紫色のカタクリの花と、淡いピンクのオオヤマザクラのやさしい風景は、全国的に有名な福島市の「花見山公園」にも負けていないという声も聞かれます。西方共有財産管理会の方々は、下刈りや間伐を行い、この公園を守っています。連休には、西方カタクリ会の方々によって模擬店が出されます。美しい花々の環境を守りながら、地域の皆さんによって様々な活動が展開され、みんなが笑顔になっていく。そんなことを思い描きながら、花々にカメラを向けていると、幸せな時間がゆっくりと流れていくのを感じました。